



OpenOrderCounter2

利用マニュアル

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved

著作権及び免責事項等

トレードシステムおよび利用マニュアルについての著作権や免責事項等について以下に記しておりますので、ご一読いただきご納得の上、ご利用ください。

●著作権及び免責事項等

トレードシステム『OpenOrderCounter2』（以下、トレードシステム）及び本マニュアルは著作権で保護されている著作物にあたります。使用にあたっては、以下にご注意ください。

トレードシステム及びマニュアルの著作権は、株式会社テラスに帰属します。

トレードシステム及びマニュアルは配布されたお客様限りでご使用ください。また、本書を第三者に閲覧させたり、譲渡、売却することを禁止します。

株式会社テラスの書面による事前許可なく、著作物の一部または全部をあらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、ホームページ等）により、引用、複製、転売、転用、転載することを禁じます。

無断で複製、転売、転用、交換、転載の事実が認められた場合、法的な手段が取られます。

著作物は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、著作物は過去データをもとに有効に機能した投資法を解説したものであり、お客様の将来の投資成果を一切保証するものではありません。投資は自己責任にもとづいて行ってください。

著作物は、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。本書で提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものいたします。

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものいたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved

目次

第1章	開発者の紹介
第2章	EA の特徴
第3章	EA の初期設定
第4章	利用方法
第5章	パラメーター設定
第6章	お問合せについて

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved



第1章 開発者の紹介

このたびは『OpenOrderCounter2』をダウンロードいただき、ありがとうございます。
開発者の SAIC です。10 年来、株や日経先物など色々なものに投資してきましたが、今はFXが
一番です。

為替が面白いところは 1 日中チャンスがあり、インサイダー取引がなくフェアな市場であり、メジ
ャー通貨であれば流動性が確保されている点です。

OANDA が公開しているトレーダーの注文量情報はほかにはないユニークな情報で、新しい投
資機会を見つける可能性を沢山秘めている宝の山です。『OpenOrderCounter2』は様々な設定を
変えられるようになり、自分好みにカスタマイズして自動売買を試していただければ幸いです。

(参考): EA 提供元の株式会社テラスとは？

システムトレードのテラス



投資助言・代理業
関東財務局長(金商)2347号

テラスは 257 名の精鋭クリエイターが競い合い開発されたシステムトレードを提供する専門サ
イトを運営しています。今回、開発者 SAIC はテラス経由で EA を皆様にご提供しています。

同社は「日本の個人投資家の“投資パフォーマンス”を世界一に。」を経営目標に掲げ、FX、
株、日経 225 に関する優れたシステムトレードを広く投資家の方にご提供するため、「システム
トレードのテラス」という販売サイトを運営しています。

<http://www.openterrace.jp/>

同社は FX のみならず、国内有力 FX 各社において Mirror Trader のストラテジーも多く提供し
ています。また代表者である林氏は EA 作成のためのセミナー開催や、総視聴率数 26 万の
ZAI FX!TV に出演するなど、システムトレードの投資家教育にも力を入れています。

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様
への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不
利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに
帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved



第 2 章 EA の特徴

●概要

OpenOrderCounter2 は OANDA Japan 株式会社指定の MT4 において、残高(Balalance)が指定金額以上の場合にご利用できる自動売買システムです。

●バージョンアップ内容

- 1) パラメーターの表示を分かりやすい日本語表示にしました。
- 2) ご利用の MT4 口座が OANDA Japan 株式会社によってプレミアム口座に指定されている場合、オーダーブック情報の更新が通常の 20 分間隔より短い 5 分間隔になります。

参考：旧バージョンをご利用の方

旧バージョンである「OpenOrderCounter」は、OANDA による情報提供サーバーの刷新に伴い、利用できなくなります。「OpenOrderCounter」は破棄いただき、本インジケーター『OpenOrderCounter2』をご利用ください。

●投資法内容

OpenOrderCounter2 は「カウンター」という名のとおり、相場に対して「逆張り」を行う投資法です。下図のとおり、相場判定で買われ過ぎ、売られ過ぎにある時に、OpenOrder 情報においてその行き過ぎを止めるような厚い注文板があれば、その価格に達した時点で逆張りを仕掛けます。

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved

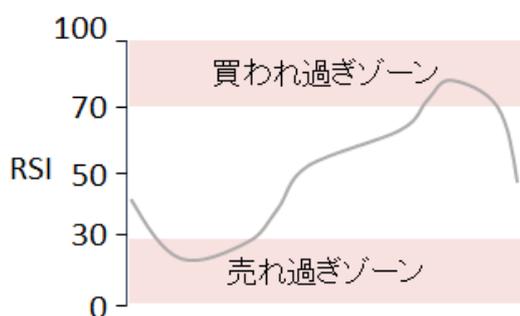
①相場判定する

相場の過熱感を判定します。

<利用できるテクニカル指標>

- ・RSI
- ・ボリンジャーバンド※

(イメージ図)



※ ボリンジャーバンドと併用して、相場判定も行えます。

②Order Book情報で仕掛ける

- ・売り
下から厚い売り注文の価格帯に入ったら、逆張り売り

(イメージ図)



- ・買い
上から厚い売り注文の価格帯に入ったら、逆張り買い

(イメージ図)



※ 逆張りを行う注文量のボリュームは設定で変更できます。

●①相場判定をする

相場判定は、テクニカル指標「RSI」を用いて判定します。

たとえば、価格が上昇し、RSIの値が70以上になると、一般的には「買われ過ぎ」といわれます。この買われ過ぎという状況下においては、通常よりも売りが増え、価格の下降する可能性が高まります。このように今、相場の反発を期待できるタイミングかどうかをはじめに判定します。

なお、相場判定にはRSIだけでなく、「ボリンジャーバンド」も利用できます。たとえば、ボリンジャーバンドが 2σ 以上の時は、「買われ過ぎ」だという相場判定も行えます。

ご自身のトレードスタイルに合わせて下の3つのパターンで相場判定を行えます。

- (1)RSIのみ
- (2)ボリンジャーバンドのみ
- (3)RSIとボリンジャーバンドの両方

さらにRSIやボリンジャーバンドの計算期間や閾値などもご自身でカスタマイズいただけます。詳しくは第5章の「パラメーター設定」の項をご覧ください。

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved

●②OpenOrder 情報で仕掛ける

「買われ過ぎ、売られ過ぎ」という相場判定が出ている時に、OpenOrder 情報を元に逆張りを仕掛けます。

たとえば、買われ過ぎの状況下で、価格の上の方に「売りの厚い注文板」があったとします。より多くのトレーダーは「ここで上昇が一旦止まる、もしくは反発する」と考えていると読み取れます。買いトレーダーにとっても、売りの厚い注文板を突破するには、相応のエネルギーが必要となります。上昇に対して売りの厚い注文板は、一種の抵抗ラインとして立ちはだかります。OpenOrderCounter2 はこの売りの厚い注文板での反発を狙い、逆張りを仕掛けます。

注文板の厚さや注文板の価格帯のうち、どこで仕掛けるかについては、ご自身でカスタマイズいただけます。詳しくは第 5 章の「パラメーター設定」の項をご覧ください。

なお、OpenOrder 情報の更新時間から一定期間が経過してもデータの更新がない場合は取引しません。また、ポジションは一つだけ持ちます。ポジション保有中に仕掛けの条件が満たされたとしても、追加でポジションを持つことはありません。

●決済

決済は仕掛け価格から一定価格は離れた価格で利食い、損切り注文を行います。初期設定では利食い、損切りともに仕掛け価格より 20pips 離れた価格となっておりますが、ご自身で変更することもできます。

MT4 上での『OpenOrderCounter2』を設置すると、下記のような表示がされます。



インジケータ「OANDA Open Order」を利用したことがある方は①～③は同じ表示であるため、④のみご参照ください。

①価格帯別注文量グラフ

価格帯別の買い・売りの注文量が表示されるグラフです。右に青色のバーが伸びている価格帯ほど「買い注文」が多く、左にオレンジ色のバーが伸びている価格帯ほど「売り注文」が多くなります。なお、同じ価格帯の買い注文量と売り注文量は相殺して、買いもしくは売りどちらかの注文量として表示しています。

②厚い注文ライン

チャート内に表示されている注文量バーのうち、買い・売りそれぞれで大きな注文量がある2か所に横線が表示されます。買い注文は青色、売り注文はオレンジ色の横線で、ラインの下に補足情報として注文が出ている価格帯(〇〇以上〇〇未満)が表示されます。

③表示データの時刻ライン

データがいつ時点のものかを表示した時間線(赤の縦線)です。市場が開いている時間におい

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

ては、通常20分ごとに情報が更新されます。なお、ご利用の MT4 口座が OANDA Japan 株式会社によってプレミアム口座に指定されている場合、5 分ごとに情報が更新されます。

④逆張りを仕掛ける注文板の基準線

「どれくらいの注文量以上なら逆張りを仕掛けるか」を示す基準線です。上の例では基準線の上に表示された「0.2%」が基準となります。

現在値より上の売り注文量を示すオレンジのバーを見てみると、基準線を越えて、左に伸びていません。そのため、逆張り売りを仕掛ける厚い売り注文板はチャート画面内にはありません。

一方、現在値より下の買い注文量を示す青いバーによっては、基準線を越えて右に伸びているものがあります。この買い板まで価格が下降した場合、買いの逆張りを仕掛けることとなります。

さきほど説明した通り、仕掛けるためには、「売られ過ぎ・買われ過ぎ」という相場判定がでていることが前提として必要となります。

【重要なヒント！】

『OpenOrderCounter2』では④の逆張りを仕掛ける注文板の基準値が重要なポイントです。この基準値は設定で変更できます。基準値を変更していただいた後、チャートを拡大・縮小してご自身が取引してもよいと思っている注文板が、逆張りを仕掛ける基準を超えているかをご確認ください。もし、思っているイメージと異なる場合、基準値を再度変更してこの確認作業を行ってください。

この作業を行い、基準値を設定することで、『OpenOrderCounter2』はあなたの相場観をより反映したトレードを行います。

【注文ラインを見るうえでの注意】

②の厚い注文ラインは、逆張りを仕掛けるラインではない点をご注意ください。②の厚い注文ラインはチャートの「画面内で相対的に大きい注文」が分かるように描かれた横線です。チャート画面の縮小・拡大すると、ラインの描かれる位置が変わります。

②の厚い注文ラインの注文量が必ずしも逆張りを仕掛ける注文板の基準線以上ではない点をご注意ください。

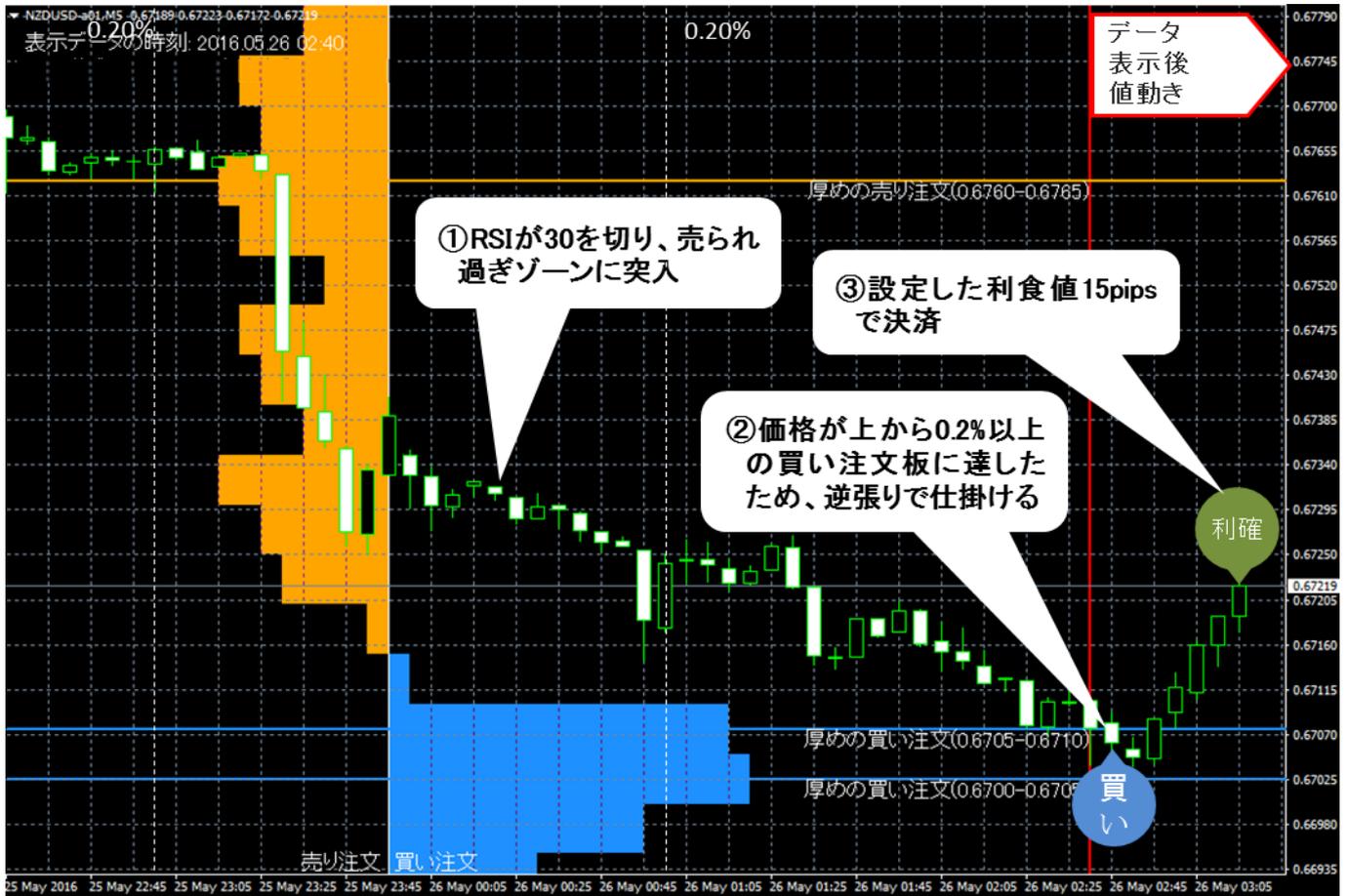
【バックテストについて】

『OpenOrderCounter2』はバックテストを行えません。その理由は、検証に必要な過去の注文量データがすべて公開されていないことと、『OpenOrderCounter2』は動作・取引速度を高めるため、取引に必要な最新のデータのみ取得する機能に集中しているためです。

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved

次に『OpenOrderCounter2』のトレード例をご紹介します。



(2016年5月26日 NZDUSDの5分足チャート)

①NZDUSDは3時間ほど価格を下げ続けています。RSIは30を切り、売られ過ぎゾーンに突入しました。トレンドに逆らわない程度の少しの反発があってもおかしくない相場です。

②赤い縦線で示される注文情報更新時に、現在の価格のすぐ下に基準値を超える買い注文板があることが分かります。

その後、すぐにこの買い注文板まで価格が下降しましたため、OpenOrderCounter2は反発のタイミングと考え、逆張りで「買い」を仕掛けました。

③その後、順調に価格はあがり、設定していた利益確定値に達したため、決済を行いました。

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

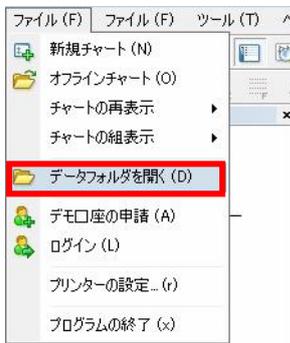


第3章 EAの初期設定

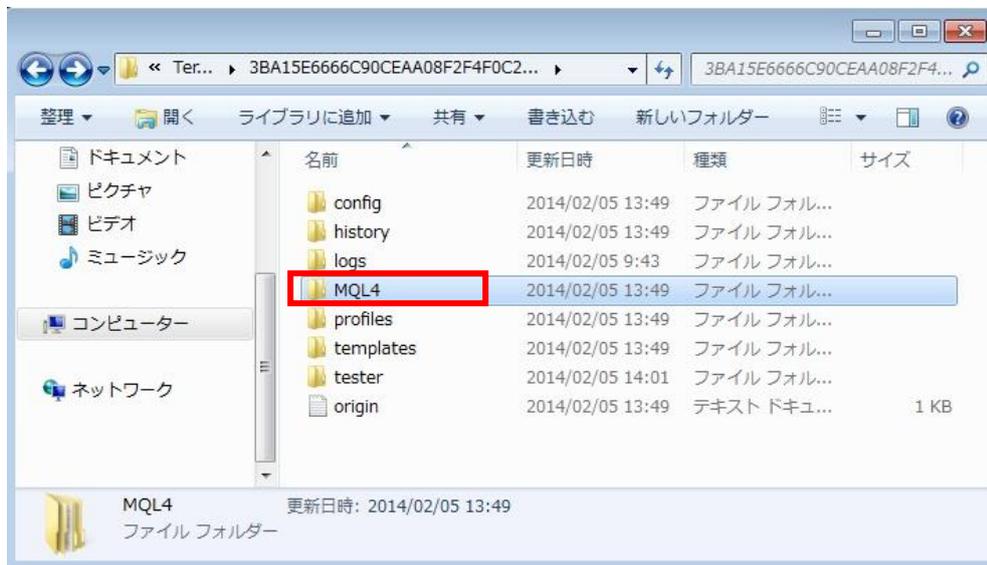
手順

- 1 MT4の[Experts]フォルダの場所を確認します。

MT4を起動 → メニューバーの[ファイル] → [データフォルダを開く]



- 2 下記のようなウィンドウが開きます。[MQL4]フォルダを開きます。

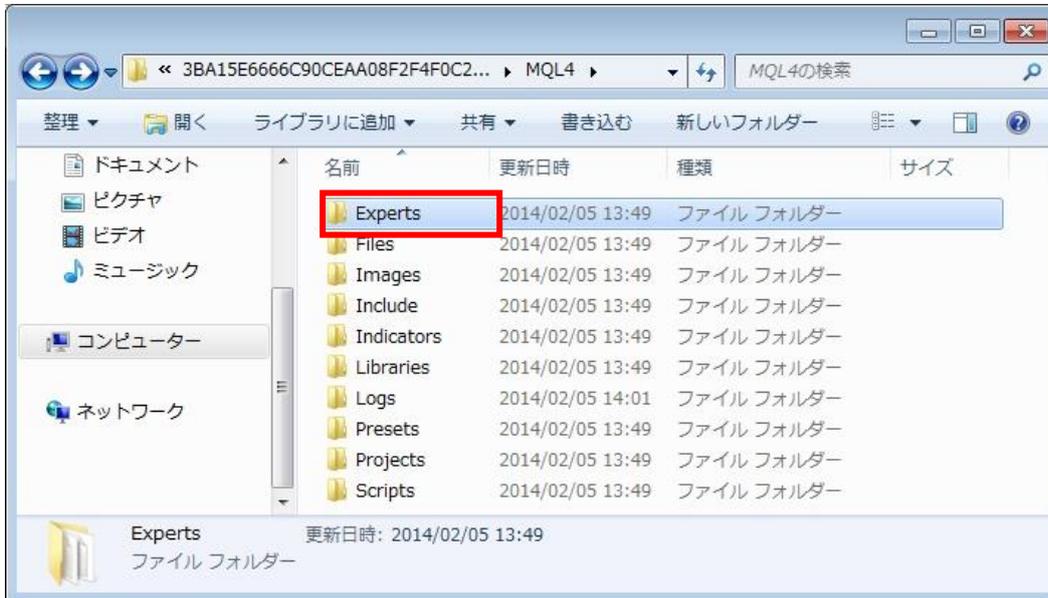


トレードシステム及び本マニュアルは信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved

手順

- 3 下記のようなウィンドウが表示されます。[Experts]フォルダを開きます。



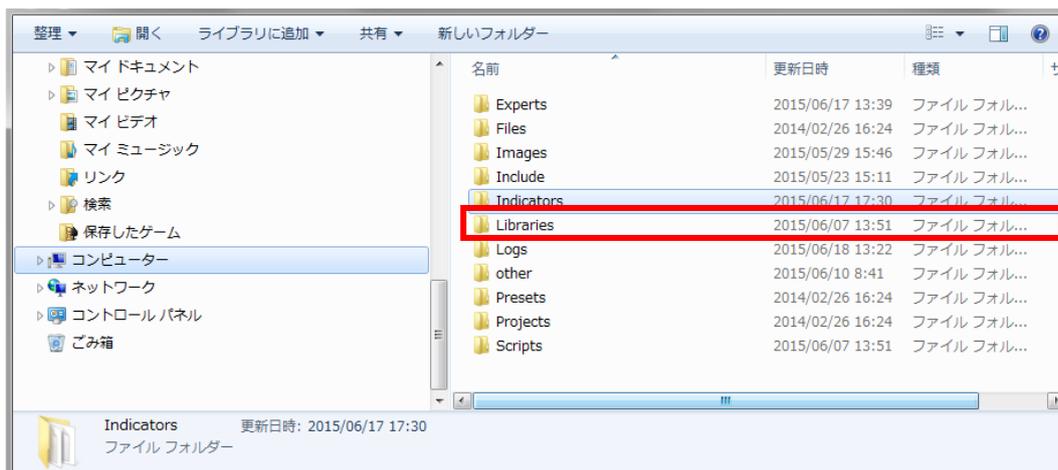
- 4 [Experts]フォルダの中に、ダウンロードした Zip ファイル内の[OpenOrderCounter2.ex4]ファイルをコピーし、貼り付けます。

- 5 ウィンドウを閉じ、再度、手順 1、2と同じ作業を行います。

手順 1: メニューバーの[ファイル] → [データフォルダを開く]

手順 2: [MQL4]フォルダを開きます。

- 6 下記のようなウィンドウが表示されます。[Libraries]フォルダを開きます。



- 7 [Libraries]フォルダの中に、ダウンロードした Zip ファイル内にあるダウンロードした[oanda_token.txt]ファイル及び[v20-fxlabs.dll]ファイルをコピーし、貼り付けます。

- 8 MT4 を閉じます。

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved



第4章 利用方法

手順

1 パソコンのデスクトップにある OANDA - MetaTrader のアイコンをクリックして MT4 を起動します。

2 対応している通貨ペアのチャートを開きます。
・メニューの[ファイル] → [新規チャート] → 「下記の対応通貨ペア」

<OANDA Open Order 対応通貨ペア>

USDJPY, EURUSD, EURJPY, GBPJPY, AUDJPY, AUDUSD, GBPUSD, EURAUD, EURCHF, EURGBP, GBPCHF, NZDUSD, USDCAD, USDCHF

(注意) 上記は 2018 年 3 月時点の対応通貨ペアです。
最新の対応通貨ペアは下のリンクよりご確認ください。

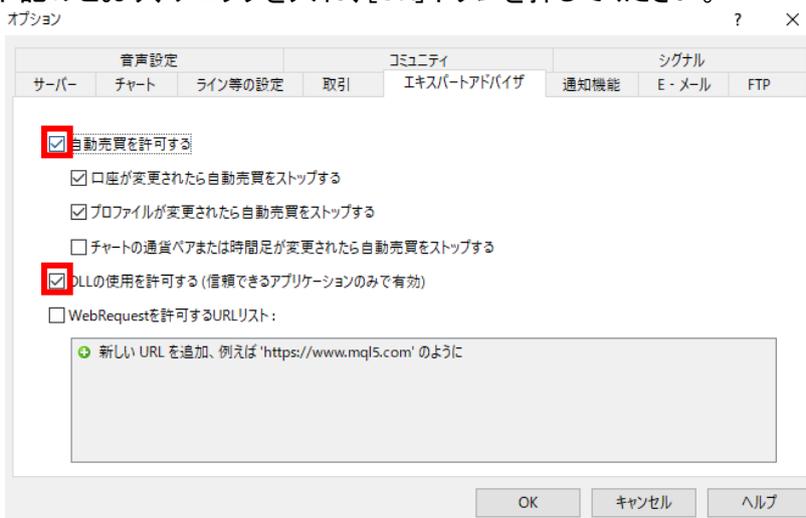
<https://www.oanda.com/lang/ja/forex-trading/analysis/forex-order-book>

3 チャートの時間足を設定します。
・メニューの[チャート] → [時間足設定] → 「5 分足」もしくは「1 分足」

※選択した時間足で相場判定を行うボリンジャーバンドや RSI の値を計算します。より細かい期間で相場判定を行いたい人は 1 分足をご利用ください。

3 メニューの[ツール]から[オプション]を選択し、[Expert Advisors(エキスパートアドバイザー)]のタブをクリックします。

下記のとおり、チェックを入れ、[OK]ボタンを押してください。

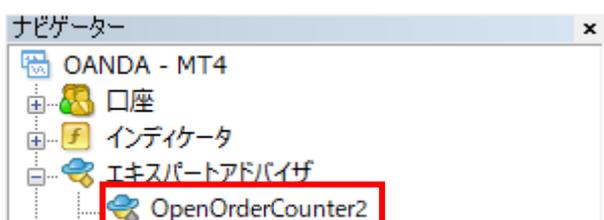


トレードシステム及び本マニュアルは信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

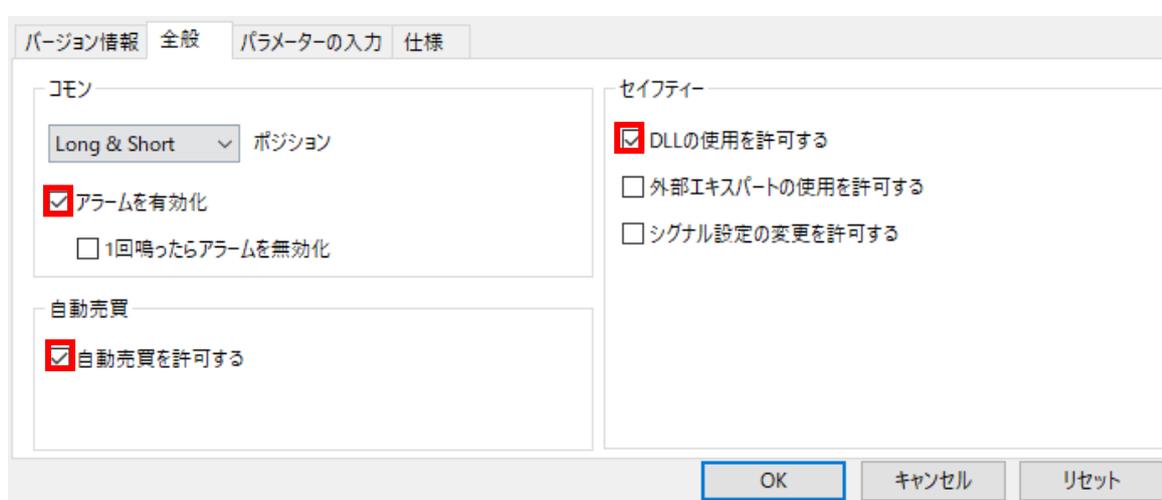
Copyright 株式会社テラス All rights reserved

手順

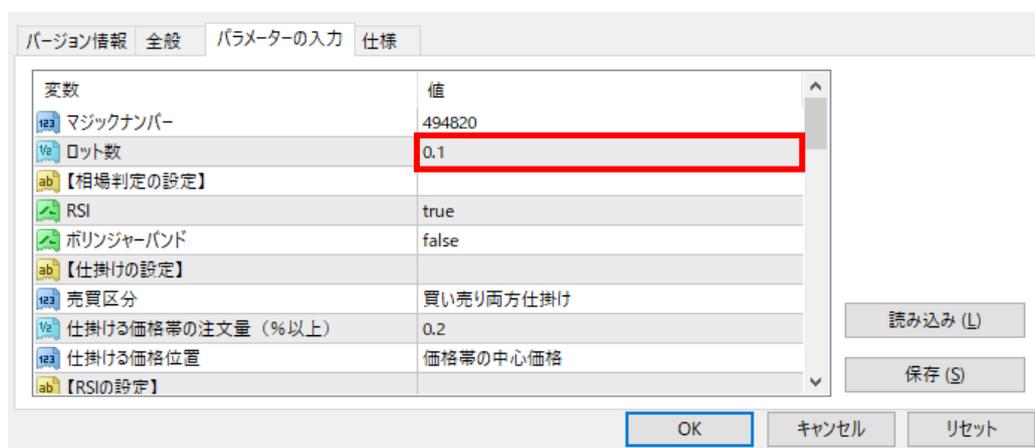
- 4 一度、MT4 を閉じてから、再度、立ち上げなおします。そうすると、左の[ナビゲーター]ウィンドウの中の [Expert Advisors(エキスパートアドバイザー)]内に入手したEA名 (OpenOrderCounter2)が表示されます。該当のトレードシステム(EA)を選択し右クリック、[チャートに表示]を選択します。



- 5 ポップアップ画面があらわれますので、下図のとおりチェックを入れ、[OK]ボタンを押してください。



- 6 [パラメーターの入力]タブをクリックします。
- ・基本ロット数を[ロット]行の値で指定します。0.01 ロットは 1,000 通貨、0.1 ロットは 10,000 通貨、1ロットは 100,000 通貨の取引を行うことを意味します。[ロット]行の値は初期設定で 0.1 と入力されているため、10,000 通貨の投資を行います。



トレードシステム及び本マニュアルは信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved

手順

たとえば、ここの値の項目をダブルクリックして、0.01 と数値を打ち込むことで 1,000 通貨に取引数量を変更することができるようになります。

- ・他の項目は必要に応じて変更できます。参考にありますパラメーター設定を見ながら、ご設定ください。
- ・最後に[OK]ボタンを押します。

もし、チャート左上に以下のメッセージが表示された場合、下記の対応をしてください。

・DLLの使用を許可してください。

手順 5 の DLL の使用許可の設定に失敗しています。手順 4 より再度、実施してください。

・口座残高300000円以上の稼働条件を満たしていません。

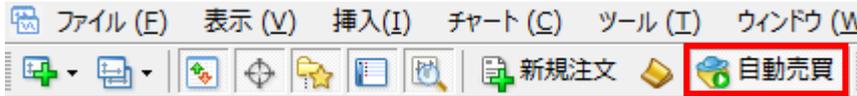
口座の残高(Balance)が OANDA Japan の指定金額に満たないため、稼働しません。指定金額以上の残高にしたのち、ご利用ください。

・本インジケータはOANDA Japanの指定のMT4口座でのみ稼働します。

OANDA Japan が指定している口座でご利用ください。

手順

- 7 画面上部のツールバーに[自動売買]というボタンがあるのでクリックして有効にします。
有効になっていれば、下記ようになります。



- 8 チャート右上にスマイルマークが表示され、しばらくして注文量グラフが表示されれば、自動売買が稼働します。



もし、チャート画面に注文量グラフが表示されない場合、下記の順番でご確認ください。

- 1) MT4 の右下に下記のように「回線不通！」と表示

回線不通！

↓↓↓

インターネット接続されていません。インターネット接続が回復すると下記のような表示になります。



- 2) 『OpenOrderCounter2』が対応していない通貨ペアに設定している可能性があります。

「手順 2 の対応通貨ペア」のチャートに EA を設置しているかをご確認ください。

手順

- 3) [oanda_token.txt]ファイル及び[v20-fxlabs.dll]ファイル指定のフォルダ内に設置されていない可能性があります。下記の方法でご確認ください。

メニューバーの[ファイル]→[データフォルダーを開く]

[MQL4]フォルダ→[Libraries]フォルダの中に、[oanda_token.txt]ファイル及び[v20-fxlabs.dll]ファイルがあるか確認する

もし、[oanda_token.txt]ファイルもしくは[v20-fxlabs.dll]ファイルがなければ、配布ファイル内の[oanda_token.txt]ファイル及び[v20-fxlabs.dll]ファイルコピーし、[Libraries]フォルダの中に貼り付けてください。

- 4) 設置した[v20-fxlabs.dll]ファイルの動作に必要な「Microsoft .NET Framework 3.5」がインストールされていない可能性があります。下記の方法でインストールして下さい。

<Windows 7/8/10 の場合>

[コントロールパネル] → [プログラム] → [Windows の機能の有効化または無効化]

→ [.NET Framework 3.5]の左のボックスに[チェック]を入れる → [OK]ボタンを押す

<Windows XP/Vista/Server2003/Server2008 の場合>

下記の Microsoft .NET Framework 3.5 の案内に従い、インストールして下さい。

<https://www.microsoft.com/ja-JP/download/details.aspx?id=21>

- 4) 注文情報を持っている OANDA サーバーがアクセス集中やメンテナンスなどの理由で一時的にサービスを停止しており、グラフ等の表示がされない場合があります。下記の方法で、サーバーのサービスが停止していないかをご確認ください。もし、サービスが停止している場合、お手数ではございますが、サービスが再開するまでしばらくお待ちください。

[ターミナル]ウィンドウの[エキスパート]タブをクリックすると、EA の動作に関するメッセージが表示されます。

(もし、[ターミナル]ウィンドウが MT4 上に表示されていない場合、メニューの[表示] → [ターミナル]をクリックしてください。)

サーバーがサービスを停止している場合、たとえば下記の文章がメッセージの一部に表示されます。

リモート サーバーがエラーを返しました: (503) サーバーを使用できません 場所 System.Net.HttpWebRequest.GetResponse() 場所 fxlabnsn

Invalid refnum passed in -1

Invalid refnum or index passed in (refnum = -1, idx = -2)

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved

●覚えておきたい操作

以下の操作は『OpenOrderCounter2』を利用する際、必ずといっても使う操作です。

チャートの価格範囲を拡大したり、縮小することで、注文量の分布を把握し、仕掛けの基準値の設定などにお役立てください。

広い範囲の注文情報を見る

チャート右端の価格軸を「クリックしながら、下に移動」させます



すると下の画像のとおり、チャートの価格の上限下限が拡大して、広い範囲で注文量グラフが見えます。



逆にチャート右端の価格軸を「クリックしながら、上に移動」すると、チャートの価格の上限下限が縮小し、より狭い範囲の注文量グラフが見えます

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved

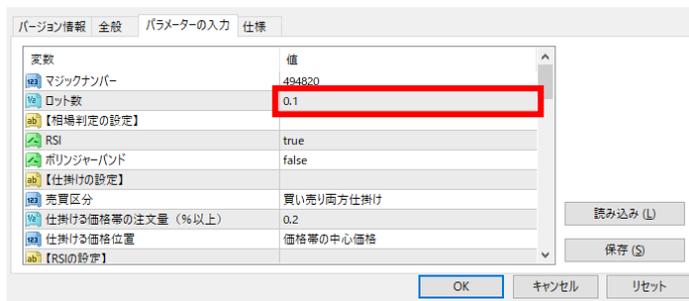


第 5 章

パラメーター設定

EA のパラメーターを再設定したい場合は、EA がセットされたチャートを選択し、[F7]ボタンを押してください。

パラメーター	説明	初期設定
マジックナンバー	<p>マジックナンバーを設定できます。マジックナンバーとは 新規注文時に付ける識別番号です。(付けられる数字 1~2147483647)</p> <p>例えば同じ MetaTrader 4 に 2 つの異なる EA が動作している時 どちらの EA が発注した注文かを見分けるための番号です。そのため、EA 毎に異なるマジックナンバーを設定する必要があります。</p> <p>もし、他に運用している EA がある場合、その EA のマジックナンバーとは異なる数値をご入力ください。</p>	494820
ロット数	<p>基本ロット数を指定できます。</p> <p>0.01 ロットは 1,000 通貨、0.1 ロットは 10,000 通貨、1 ロットは 100,000 通貨を意味します。</p> <p>たとえば、Lots 行のバリューの項目をダブルクリックして、0.01 と数値を打ち込むことで 1,000 通貨に取引数量を変更することができるようになります。</p>	0.1 (10,000 通貨)
【相場判定の設定】	<p>以下で「相場判定に利用するテクニカル指標」を選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •true: 相場判定に利用する。 •False: 相場判定に利用しない。 	-
RSI	RSI	true
ボリンジャーバンド	ボリンジャーバンド	false



トレードシステム及び本マニュアルは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved

パラメーター	説明	初期設定
【仕掛けの設定】	以下で「OpenOrder 情報による仕掛け」の設定を行えます。	-
売買区分	EA で行う取引を指定します。 ・Long & Short: 買い売り両方 ・Long Only: 買いのみ ・Short Only: 売りのみ	買い売り両方仕掛け
仕掛ける価格帯の注文 量(%以上)	どれくらいの注文量以上なら仕掛けるかを指定する基準値です。	0.2(%)
仕掛ける価格位置	仕掛けを行う価格帯のうち、どの価格で仕掛けるかを指定できます。 ・価格帯のうち現在値に最も近い価格 ・価格帯の中心価格 ・価格帯のうち現在値から最も離れた価格	価格帯のうち現在値に最も近い価格
【RSI の設定】	以下で「RSI」の設定を行えます。	-
RSI の期間	RSI の計算期間	14(本)
以上	RSI がいくつ以上であれば、買われ過ぎと相場判定し、「売りを仕掛ける前提」になるか指定	70
以下	RSI がいくつ以上であれば、売られ過ぎと相場判定し、「買いを仕掛ける前提」になるか指定	30
【ボリンジャーバンドの設定】	以下で「ボリンジャーバンド」の設定を行えます。	-
ボリンジャーバンドの期間	ボリンジャーバンドの計算期間	20
σ (シグマ値) 以上	ボリンジャーバンドの σ (シグマ) 値。現在値が指定した σ で計算したボリンジャーバンドのアップパー以上であれば、買われ過ぎと相場判定し、「売りを仕掛ける前提」になります。 逆に現在値がボリンジャーバンドのローワーバンド以下であれば、売られ過ぎと相場判定し、「買いを仕掛ける前提」になります。	3(σ)
【手仕舞いの設定】	以下で「手仕舞い」の設定を行えます。	-
損切り値(pips)	損失が何 pips になったら、損切りを行うか(ストップロス)を数値で指定できます。	20(pips)
利食い値(pips)	利益が何 pips になったら、利益確定を行うか(テイクプロフィット)を数値で指定できます。	20(pips)
【ラインの設定】	以下で「注文量の多い価格帯への横線」の設定を行えます。	-
買い・売り板に描く各ライン数	チャート画面内に表示されている注文量バーのうち、買い注文、売り注文それぞれについて、注文量が多い順に指定した数の横線を表示します。	2

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved

パラメーター	説明	初期設定
【色の設定】	以下で「色」をカラーパレットで指定できます。	-
買い注文ライン	チャート画面内で買い注文量が多い価格帯ライン	DodgerBlue
売り注文ライン	チャート画面内で売り注文量が多い価格帯ライン	Orange
グラフ右エリア(買い)	-	DodgerBlue
グラフ左エリア(売り)	-	Orange
グラフ中心線	-	White
仕掛け条件となる注文量の線	どれくらいの注文量以上なら仕掛けるかを指定する基準線	Red
表示データ時刻の線	-	Red
文字	-	White
【線のスタイル設定】	以下で「線のスタイル」をプルダウンの選択肢から指定できます。	-
買い注文ライン	チャート画面内で買い注文量が多い価格帯ライン	実線
売り注文ライン	チャート画面内で売り注文量が多い価格帯ライン	実線
グラフ中心線	-	実線
表示データ時刻の線	-	実線
仕掛け条件となる注文量の線	どれくらいの注文量以上なら仕掛けるかを指定する基準線	点線
【線の幅設定】	以下で「線の幅」を数値で設定できます。	-
買い注文ライン	チャート画面内で買い注文量が多い価格帯ライン	1
売り注文ライン	チャート画面内で売り注文量が多い価格帯ライン	1
グラフ中心線	-	1
表示データ時刻の線	-	1
仕掛け条件となる注文量の線	どれくらいの注文量以上なら仕掛けるかを指定する基準線	1
【文字の設定】	以下で「文字」に関する設定を行えます。	-
文字フォント	-	MS ゴシック
文字サイズ	-	10
【その他の設定】	以下で「その他」の設定を行えます。	-
言語	チャートに表示する文字を[Japanese(日本語)]、[English(英語)]から指定できます。	日本語
ポジション情報の表示	チャート左上に文字情報と掲載されるポジション情報の[表示]もしくは[非表示]を指定できます。	0.7
グラフの幅	グラフの幅(0.5 から 1 の範囲)を指定できます。	7

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved



第 5 章 お問合せについて

問合せについては、「EA が稼働しない(スマイルマークがでない)」というご質問をたくさんいただきます。しかし、実は問合せをいただく前に落ち着いて本利用マニュアルを再度ご確認くださいと、簡単に問題が解決することが多いのです。

実際に解決した問合せの多くはマニュアルの読み飛ばしであったり、パスワードの入力間違いだったり、といった些細なミスが原因のようです。

いち早く問題を解決して EA を稼働させていただくためにも、本マニュアルを再度ご確認くださいければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

特に本 EA をチャートにセットした場合に発生する警告のポップアップがあった場合、「第 4 章 利用方法」の第 6,8 項をご確認ください。

また、本 EA はご自身が自由に通貨ペアやパラメーターを選択してご利用いただくタイプの EA です。これらの選択に関するサポートやアドバイスは行っておりませんのでご注意ください。

それでも解決しない場合、下記 URL よりお問い合わせください。

<http://www.openterrace.jp/contact.html>

(質問の際は、「OpenOrderCounter2 について」と必ずご記入ください。)

また、OANDA Japan にもサポート窓口がございます。

<https://www.oanda.jp/trade/web/ApplyJpAction.do?p=0>

本システムとマニュアルが、あなたの投資にとって新しい切り口となることができれば幸いです。

トレードシステム及び本マニュアルは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。トレードシステム及び本マニュアルは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の外国為替の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。トレードシステム及び本マニュアルで提供する情報を使って生じた不利益、損害に関し、当情報作成者及び情報提供元は、一切の責任を負わないものといたします。本レポートはご購入されましたお客様限りでご使用ください。また、本レポートの著作権は株式会社テラスに帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製、転用、転載、交換、または転送等を行わないようお願いいたします。

Copyright 株式会社テラス All rights reserved